

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成21年度採択）

事後評価

番号	研究名	研究代表者	評価
21-1	道路交通の時間価値についての研究	東京大学大学院 准教授 加藤 浩徳	A
<p><研究の概要> ※成果報告レポートより引用</p> <p>道路プロジェクト評価を改善するために、交通の時間価値の実情把握とあり方の検討を研究目的として、国内外の交通の時間価値のレビュー・データベース化、我が国における道路交通の時間価値の推定および推定方法の検討、我が国における交通の時間価値設定に関わる論点の整理を実施する研究開発。</p> <p><事後評価結果></p> <p>包括的な既存研究の乏しい中、諸外国の交通時間価値分析をレビューし、相場観を形成するなど、広範囲かつ客観的に内外の研究状況、認識、課題が整理されており、本研究を起点とした発展が期待されることから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと評価する。</p> <p>なお、実務への活用に向けて、選択理論に加え、現在使われている所得接近法との比較検討が必要不可欠であり、今後の研究継続が期待される。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本研究は、交通時間価値のレビューから、交通データに基づく選好接近法による分析、時間価値設定のあり方の検討まで幅広い研究目的に対し、十分な成果が得られた。一方、研究成果の実務への反映には、現行の所得接近法との比較等、さらなる検討が必要である。 2. 研究成果は学術研究という観点からは高く評価できるが、道路行政としての今後の方向性や活用方策について提案いただきたい。 3. 本研究成果によって、現行の費用便益分析に対してどのような示唆を与えることができるのかを具体的に示していただきたい。 4. 時間価値の推定精度/信頼区間に相当する情報を示すとともに、所得接近法とそれ以外の方法による推定値の取り入れ方を示唆する、あるいは判断に供する補足情報を整理していただきたい。 5. 今後、本分野で研究を継続する研究者への提言を取りまとめていただきたい。本研究が継続的に行われることを期待する。 			